



各 位

会 社 名 東日本ハウス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 成田和幸  
(JASDAQ・コード 1873)  
問 合 せ 先 取 締 役 青 菫 雅 肥  
経 理 ・ 財 務 担 当  
T E L (03) 5215-9905

### 環境事業の開始に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 4 月 30 日開催の取締役会において、下記のとおり新たな事業を開始することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 事業開始の趣旨

世界を取り巻く環境問題は日々深刻な状態となっており、オゾン層の破壊、地球温暖化に始まり、酸性雨、熱帯雨林の減少等、様々な問題が発生しております。地球規模での環境保護は避けては通れない重要な課題であり、各国において様々な取り組みがなされております。我国においても、CO<sub>2</sub>の 25%削減目標を掲げた民主党政権のもと、省エネルギー等に向けた政策が次々と施行されており、従来コストの問題から普及が遅れていた民間個人レベルの環境保護投資についても、急速に地盤が整備されつつあります。

当社では、従来より、安心と安全そして健康等をテーマに、気密性が高い高耐久長寿命住宅、ソーラーパネル標準搭載住宅等の、省エネルギー、エコロジー型商品の開発・販売に積極的に取り組んでまいりました。このような時代背景のもと、環境保護型商品の種類を増やし、個人向けのみならず、工場、商業ビル、ホテル、マンション等の大規模建築物向けに、維持管理等のコストの削減によるお客様への貢献、省エネルギー、省資源等による地球環境保護への貢献を目指し、新たに環境事業を開始いたしました。

#### 2. 新たな事業の概要

##### (1) 新たな事業の内容

エコロジー、省エネルギー、CO<sub>2</sub>削減をテーマに、環境配慮商品の販売、公的補助事業の推進活動を行ってまいります。主な取扱商品は以下のとおりであります。

##### ① 水処理装置【エルセ】

当社が、日本治水株式会社（本社 宮崎県東諸県郡、代表取締役 宮脇秀子氏）が製造する水処理装置【エルセ】の総代理権を得て、企業、官公庁及び個人向けに販売・施工するものであります。【エルセ】は、セラミックス粒子の衝突、摩擦による微弱な電氣的エネルギーにより、水の溶解力、浸透力、洗浄力、抗酸化力を向上させる装置であり、「洗浄用活水器」、「医療施設用水の処理方法」等の特許を取得しております。【エルセ】には、設置工事が簡単、電気代等のランニングコスト不要、半永久的に使用可能等の優れた特徴があり、これまでも公共施設、工場、医療機関、飲食店等で多くの導入実績がありますが、当社が【エルセ】の総代理権を獲得し、企業及び官公庁等への更なる拡販、小型化による個人向け需要の開拓を図るものであります。

【エルセ】の主な効果

使用箇所	機能	効果
給水管	スケール発生防止 赤水防止、消臭	保守コストの削減、耐用年数の延長 浄水器不要
排水管	スライム等のぬめり防止	保守コストの削減、耐用年数の延長 定期清掃削減
クーリングタワー ヒートポンプ エコキュート等	スケール発生防止	熱交換効率の向上⇒消費電力削減、ブロー水削減 スケール薬剤不要⇒廃液未発生 充填液の交換削減
トイレ	尿石発生防止	悪臭防止、清掃コスト削減

等

② 遮熱・断熱塗装材【ガイナ】

当社が、株式会社日進産業（本社 東京都板橋区、代表取締役 石子達次郎氏）が、宇宙航空研究開発機構【JAXA】のライセンス許諾を得て製造する遮熱・断熱塗装材【ガイナ】を企業及び個人向けに販売・施工するものであります。【ガイナ】は、【JAXA】がH-2 ロケットの打ち上げ時の耐熱材として開発した技術を応用した製品であり、微小なセラミックビーズにより優れた遮熱・断熱効果を発揮し、エネルギー効率を大幅に改善いたします。その結果【ガイナ】は、【JAXA】から、コスモードプロジェクト（日本の宇宙開発から生まれた最先端のアイデアをより多くの人の日常に届けるために発足された、「プロダクト開発プロジェクト」）第1号に認定されたほか、【ガイナ】を塗装した工業団地の事例が、「平成17年度 省エネルギー優秀事例全国大会」において資源エネルギー庁長官賞を受賞するなどしております。そのほか【ガイナ】には、防音、消臭、結露防止、防カビ等の数々の効果があります。

③ 太陽光発電装置

④ LED照明設備

(2) 当該事業を担当する部門

環境事業部（新設） 大規模建築物向け  
住・リフォーム事業部 戸建住宅向け

3. 当該事業の開始のために支出する金額及び内容

エルセの総代理店契約金及び設備投資資金等として約20百万円を見込んでおります。

4. 日程

取締役会決議 平成22年4月30日  
事業開始期日 平成22年5月1日

5. 今後の見通し

平成22年10月期において約2億円の売上高を、平成23年10月期において約20億円の売上高を、それぞれ見込んでおります。

以上